

## ■ハング競技委員会議事録

### ◆日時

2012年3月18日(日)10:00-12:30

### ◆場所

大増公民館

### ◆参加者

板垣、北野、松村、内田、牟田園、(鈴木)、(大沢)

### ◆議事録

牟田園

### ◆議題

#### 1. 世界戦

- ・世界戦の手続きについて
- ・世界選手権のチームリーダーの派遣について

#### 2. 競技委員会運営

- ・カテゴリー2の大会を開催する場合の英語対応について
- ・次年度の役割分担について
- ・集計用PCについて
- ・シリーズ登録状況の把握について
- ・オンラインコンテストについて
- ・大会の申請方法について
- ・大会の公認手続きについて

#### 3. 競技

- ・規定改定について
- ・大会初参加の選手に対するケアについて
- ・タスクボードについて

#### 4. その他

- ・決定事項
- ・ToDo

### ◆議事

#### 1. 世界戦

##### ○世界戦の手続きについて

男子5名・女子2名の枠で世界選手権の1次エントリーを申し込んでもらえるように、JHF事務局に依頼する(北野)  
リジッド・女子世界選手権の予算を2013年度世界選手権に繰り越すことができるのかJHFに問い合わせる(北野)  
世界選手権の必要経費を算出して6月のJHF総会で申請する(北野)  
2013年の世界選手権の女子の扱いについて、公式な選手権として開催されるのかCiVL【Jamie】に問い合わせる(北野)

##### ○世界選手権のチームリーダーの派遣について

予算をつけてもらえるようにJHFに依頼する(板垣)

## 2. 競技委員会運営

以下の規定について追加・変更を検討する

- ・2日間の大会について
  - ⇒採用する場合は以下の検討が必要
    - －1エリアでの開催上限を決める
- ・ヒート制の採用本数について
- ・世界選手権の採用方法について
  - ⇒世界戦選抜ランキング、ヒート制、ワイルドカードなど窓口が多様化している現状がある

○大会の申請方法について

大会申請に必要なものをHPに明示して大会主催者に告知する(牟田園)

- ・開催要項
- ・開催申請書
- ・ウェイポイントファイル
- ・ローカル規則

○カテゴリ2の大会を開催する場合の英語対応について

英語版の開催要項をPDFで作成してホームページに掲載する(北野)

○次年度の役割分担について

板垣: 競技委員長  
松村: 西日本担当兼副競技委員長  
北野: 大会公認  
内田: ハングシリーズ登録  
鈴木:  
牟田園: ホームページ、ルール改定

議題の採決方式について原則は多数決を採用し、競技委員長は2票持つこととする。

- ・ポイントラリーをハングシリーズに展開できないか検討する(鈴木)

○大会の公認手続きについて

申請内容に不備があった場合は、競技委員会のメンバーの意見を北野が集約して大会主催者に連絡する。その際にはJHF事務局もCCに入れてメールを出す。

○集計用PCについて

現行のPCが古くて故障する恐れがあるので新規に1台購入する  
⇒必要なスペックを算出して大沢に申請する(牟田園)

○シリーズ登録状況の把握について

過去のシリーズ登録状況を4月中に整理して、今後の対応の検討資料にする(内田)

○過去に実施した選手の意識調査について

調べた情報を整理して競技委員会内で報告する(内田)

○オンラインコンテストについて

選手向けにオンラインコンテストの登録マニュアルを作成する(鈴木)  
日本独自のランキングをつけられるようにCiVLに問い合わせる(牟田園)

## 3. 競技

○規定改定について

オーストラリアなどの年始に開催される世界選手権の場合は選考期間を短縮するか検討する  
⇒締め切りの期日を設ける方向で進めるが、具体的な期日については次回検討課題とする  
現行規定のうち定義が不明確な部分については、8月の池田の大会までに整理する(牟田園)  
⇒素案をもとに競技委員会で叩く。判断がどちらともとれる議題については、別途競技委員会で検討する

○大会初参加の選手に対するケアについて

大会に始めて参加する選手に対して、大会簡易マニュアルを作成する(鈴木)

○タスクボードについて

現状のルールに即したボードおよび電子ファイルを作成する(松村・大沢)

#### 4. その他

##### ○決定事項

-次年度の役割分担を以下とする。

板垣: 競技委員長

松村: 西日本担当兼副競技委員長

北野: 大会公認

内田: ハングシリーズ登録

鈴木:

牟田園: ホームページ、ルール改定

※議題の採決方式について原則は多数決を採用し、競技委員長は2票持つこととする。

-大会の公認手続きについて

申請内容に不備があった場合は、競技委員会のメンバーの意見を北野が集約して大会主催者に連絡する。

その際にはJHF事務局もCCに入れてメールを出す。

##### ○ToDo

-板垣

・世界選手権のチームリーダー派遣に予算をつけてもらえるようJHFに依頼する

-北野

・男子5名・女子2名の枠で世界選手権の1次エントリーを申し込んでもらえるように、JHF事務局に依頼する

・リジッド・女子世界選手権の予算を2013年度世界選手権に繰り越すことができるのかJHFに問い合わせる

・世界選手権の必要経費を算出して6月のJHF総会で申請する

・2013年の世界選手権の女子の扱いについて、公式な選手権として開催されるのかCiVL(Jamie)に問い合わせる

・カテゴリ-2の大会については英語版の開催要項をPDFで作成してホームページに掲載する

-内田

・過去のシリーズ登録状況を4月中に整理して、今後の対応の検討資料にする

・2010年度に実施した選手の意識調査について、結果を整理して競技委員会内で報告する

-牟田園

・大会主催者に対して、大会申請に必要なものをHPに明示し、告知する

・集計用PCを新規に購入すべく、必要なスペックを算出して大沢に申請する

・オンラインコンテストで日本独自のランキングをつけられるようにCiVLに対して問い合わせる

・現行規定のうち定義が不明確な部分については、8月の池田の大会までに整理する

-鈴木

・ポイントラリーをハングシリーズに展開できないか検討する

・選手向けにオンラインコンテストの登録マニュアルを作成する

・大会に始めて参加する選手に対して、大会簡易マニュアルを作成する

-松村

・現状のルールに即したタスクボードおよび電子ファイルを作成する